



35年間交通指導員を続けている
 小林市交通指導員会 会長
 ひらかわ ぐんじ
平川 軍二 さん (81)

朝7時すぎ。通学する児童と「おはよう」とあいさつを交わしながら交通指導員を続けている人がいる。小林市交通指導員会会長、平川軍二さん、81歳。平川さんは、交通指導員として週3回、35年間交通指導に当たっている。「児童が笑顔で通学する姿を見ると元気が出ます。だから今まで続けることができました」。

平川さんが担当する場所は、交通量が多い南小学校近くのT字路だ。特に朝は、通学する児童の道路横断と通勤時間が重なり一時も気が抜けない。

「人や車の状況を把握することは、交通指導をするうえで重要。いろんな所に立って見て、車の流れや時間帯、登校時間などを考慮して現在の立ち位置に落ち

Information

登校する児童を見守る平川さん

交通指導員を募集しています

市では、現在18人の交通指導員が各地区で交通指導を行っています。交通指導は以下の期間と時間帯で行います。関心のある人は問合わせください。

- ・週3回(月、水、金曜)と交通安全運動期間(年4回)の登校時間帯
- ・制服などを貸与します
- 問 危機管理課 (Tel.23-1175)

着きました」。

その結果、平川さんが担当して以来、人身事故は一度も発生していない。しかし、横断しようとしている子どもたちの近くを走り去る車や携帯電話を見ながら運転する車など、危険を感じたことは何度もあった。「幸い私の担当場所では起こっていませんが、全国では悲惨な事故で尊い命が奪われています。まずは、

大人が交通ルールを守ることが大切なんです。全員が、緊張感を持って車を運転すれば事故は必ず減ります」と語気を強める。

「社会に貢献することは当たり前なことだと思っているの、体調管理に気を付けて、体が続く限りは指導員を続けていきたい。子どもたちの成長を見守りながら、今日も朝日とともに交通指導は続く。

子どもたちの笑顔が励みになる。その笑顔を守るため、大人が交通ルールを守ることが大切。

小林人
 こばやしびと
 Vol.83

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内7地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

須木地区

2019年のカレンダーを販売します！



須木をPRする写真が盛りだくさんです！

すきむらづくり協議会は、平成27年から広報班が中心となって協議会のオリジナルカレンダーを作成・販売しています。3作目となる今回も、須木区内から懐かしい昔の写真や最近の出来事を残した写真を公募し、各月のイベントを掲載しました。地域の人や、市外在住の出身者からも好評をいただいています。1部500円で11月15日から、協議会事務局や須木区内の小売店などで販売しています。詳しくは事務局へ問合せください。売上げは、協議会の活動費として有効に活用させていただきますので、ご購入よろしくお願ひします。

東方地区

陰陽石まつりで芋煮のふるまいを実施！



用意した芋煮はすぐに無くなるほど大好評。スタッフも笑顔で対応していました

東方まちづくり協議会の初めての取り組みとして、陰陽石まつりで芋煮のふるまいをしました。毎年沢山の人で賑わう東方の祭りに、少しでも貢献しようという思いで取り組みました。地元の生産者からゴボウや里芋などを提供して頂き、とても美味しい芋煮が出来ました。告知などは、前もってほとんどしていなかったのですが、沢山の人が口に食べていただきました。「おいしい！」と多くの人の声が聞けてスタッフも笑顔で頑張りました。今後も東方の皆様と一緒に地元を盛り上げていきたいと思ひます。

三松地区

いよいよ第1回「みまつ食堂」オープン！



みまつアパレルは大盛況。準備から販売まで子どもたちが一生懸命頑張りました

6月に設立し最初の活動は、三松地区夏の祭典「ナイトイン三松」でした。伝統を守りながらも、新しい事を取り入れ盛り上げていこうと「みまつアパレル」を企画。家庭にある着ていない服を集めて児童が販売するという、体験学習型のイベントです。多くのお客様で賑わい、大成功に終わりました。また、12月からは食を通しての世代間交流を目的として第1回「みまつ食堂」を開催します。福祉施設とも連携し、地域住民の交流の場を提供します。回覧板のチラシをご覧のうえお越しください。皆様のご参加をお待ちしています。